

禾月 俳人。夫と離縁後に句作をはじめ、宗匠にまでなった。

かげつ

・・・・・・・・ 1781 = 仙台藩士横田善三郎始成(400石)の長女に生まれる。  
父は仙台清水小路に住み、俳譜を好み風雅を楽しんだ。

田沼意次失脚1786 = 5歳 :

異学の禁・・ 1790 = 9歳 : 母と死別, 横田家を継ぐため養子を迎えた。

松平定信引退1793 = 12歳 :

しかし夫は健康がすぐれず, 子供ができなかったので, 義妹を養女として後嗣とした。

蝦夷地直轄始1799 = 18歳 :

間宮海峡発見1808 = 27歳 :

ゴブオン拿捕 1811 = 30歳 : この頃, 夫は離縁となり, 以後再婚せず, 養子夫婦を守り孫の教育に専念する。句作をはじめたのもこの頃である。俳号ははじめ亀丸。

素養があり多くの俳友と交遊があった。

松窓乙二の門人となり,

杉田玄白没・ 1817 = 36歳 :

水野忠成老中1818 = 37歳 :

しん 村来日・ 1823 = 42歳 : 乙二死後は高橋一具の指導を受ける。乙二の追善集「しにに草」を編んでいる。

・・・・・・・・ 1826 = 45歳 :

富嶽三十六景1831 = 50歳 : \*この頃には, 師を凌ぐ句を作り, 宗匠として一家を成す。

滑稽+人情本 1835 = 54歳 :

大塩平八郎乱1837 = 56歳 :

適塾オープン・ 1838 = 57歳 : \*江戸の一具庵で剃髪, 足了庵禾月尼と称し, 剃髪改号記念集「乎梵呂俗味」を刊行。

俳匠としての名声が高まり, 交友は遠く九州, 北海道にも及ぶ。

天保改革終・ 1844 = 63歳 :

阿部正弘首座1845 = 64歳 :

・・・・・・・・ 1848 = 67歳 : この頃, 舎用・如雲と「鱗くらべ」刊行。

万次郎帰国・ 1852 = 71歳 : \*古稀の賀集「岩根草」を出し,

ペリー来航・ 1853 = 72歳 :

開国開港・・ 1857 = 76歳 :

没した。

翌年, 門人の禾山女が追善集「軒しぐれ」を上梓した。